

エブリオ × 沢登り



さあ、夏がやってきた！
灼熱の都心を抜け出して沢登りへ。
多彩な機能を備えたエブリオで
躍動感あふれる思い出を残そう。

写真/加戸昭太郎 文/挟間みゆき モデル/小野田弥恵 協力/ファイントラック

初 夏の陽気に誘われて、友人と訪れたのは丹沢にある小川谷。ハーネスにヘルメット、シューズを身につけたらハイビジョンメモリームービー「エブリオGZ-R300」をカラビナでショルダーベルトに装着して準備完了。沢に足を一歩踏み出せば、そこは暑さ知らずの天然のプールとなる。今回が沢デビューの友人は無邪気に水しぶきを立てて歩き、滝にも豪快に突っ込んでいく。ふふ、どうやら気に入ってもらえた様子。そんな楽しい彼女をエブリオで逃さず録画。起動が早く、防水だから水を気にせずに撮影できるのがいいところ。調子が乗ってきた私たちは、大胆にも、撮影しながら自然のウォータースライダーを滑り、滝壺にジャンプ！ひと味違う映像が撮れるのも、野外に特化したムービーだからなせるワザだろう。ズームでもブレにくく、高画質で見たものをそのまま残せる次世代レコーダー。山行記録用に、はたまた涼しさも感じられる映像を思い出しして友人と共有するのもよし。いずれにせよ、この夏はたくさん活躍してもらいましょう。

4



マイナス10度まで
耐低温

冷たい沢水でもバッテリーがもつ！

標高が高くなるにつれて、全身しびれるくらい冷たくなる沢水。通常の電子機器なら低温の環境下では電源が切れやすいが、マイナス10度までの耐低温だからバッテリーも長持ち。雪解け水なんのその。



3 防塵

砂地に置いても安心！

「休憩を取ろう」のかけ声と同時にザックを下ろし、無造作にカメラも地面にポンと置いてしまう。しまった！だが、そんなドキッとす瞬間でも大丈夫。防塵だから砂地だろうが、たとえ砂埃が舞う風の強い日だろうが問題なし。

2 耐衝撃



ハーネスにぶら下げてもOK

最高の瞬間を逃さないためにもカラビナで胸元のハーネスに装着し、いつでも撮れる状態に。衝撃に強いから岩に取り付いている最中にもぶつけて大丈夫。緊張する場面でも、カメラに気を使う必要のないのがうれしい。

JVC エブリオ

ハイビジョンメモリームービー GZ-R300

コンパクトで軽量なのに大容量内蔵バッテリー搭載で約5時間の連続撮影を可能に。防水・耐衝撃・防塵・耐低温だから、過酷な山のアクティビティにも最適だ。カラーはオレンジ、ホワイト、ブラウンの3色。

価格	5万500円(税込)
有効画素数	229万～101万画素(動画)
レンズ	コンカミノルタHDレンズ
ズーム	光学40倍/ダイナミック60倍/デジタル200倍
内蔵メモリー	32GB
メモリーカード	SD/SDHC/SDXC
サイズ	幅60mm×高さ59.5mm×奥行122mm
総重量	約288g(内蔵バッテリー含む)

問合せ先/JVCケンウッド 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12
☎0120-2727-87 www.jvckenwood.com

約5時間の
連続撮影



フローティング
装着で
沈まない！

水中に落としても浮き上がるフローティングストラップ「WA-FLOO」(別売り)があれば深い場所でも安心。また浮力を使って水面下の撮影など、より遊び心のある映像も撮ることができる。

5m防水

滝も釜もなんでもこい！

滝を登ってじゃぶじゃぶと水しぶきを浴び、深い釜をスイスイ泳ぐシーンが多い沢登りでは、持っていく電子機器の防水対策が重要だ。その点、水深5mまでOKと高い防水性のエブリオは、まさに沢にうってつけ。